

おかやま県議会だより 第5号

編集・発行 岡山県議会 ●岡山県議会ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/syokyoku/gikai/gikai.htm>

平成22年2月21日 (年2回発行)



- 時間変更のおしらせ
- 韓国慶尚南道と友好交流協定
- 岡山県議会スケジュール
- 県議会を振り返る(11月・9月・6月定例会)
- 活動する県議会 2009年を振り返る
- 天皇陛下御即位20年をお祝いし、賀詞の奉呈を決議
- ホームページがリニューアルしました
- 全国都道府県議会議長会自治功労者表彰

岡山県議会スケジュール

傍聴・視聴の際は参考にしてください。(変更になる場合もあります。)

- 2月**
- 22(月) 2月定例会開会 常任委員会
 - 25(木) 代表質問
 - 26(金) 代表質問
- 3月**
- 2(火) 一般質問
 - 3(水) 一般質問
 - 4(木) 一般質問
 - 5(金) 一般質問
 - 9(火) (一般質問予備日)
 - 10(水) 行財政改革・道州制等特別委員会 地域振興・観光・金融・雇用対策特別委員会
 - 11(木) 子ども応援特別委員会 文化振興・環境対策等特別委員会
 - 12(金) 常任委員会
 - 16(火) 議会運営委員会
 - 17(水) 2月定例会閉会



「国民文化祭・おかやま2010マスコットももっち」

時間変更のおしらせ

今年から、本会議及び委員会の開催時間が変更となっています。

従来は、通常10時30分から開かれていましたが、
本会議・委員会とも、通常10時00分
から開くこととなりました。

傍聴・視聴の際は、お間違えのないよう、ご注意ください。

※なお、委員会は午後開催される場合もあります。
県議会ホームページなどで日程をご確認ください。



韓国慶尚南道と友好交流協定

昨年10月17日、小田春人県議会議長が出席し、本県と慶尚南道との友好交流協定調印式が行われました。交流の一層の進展を願い握手を交わす、小田議長と李泰一(イ テイル)道議会議長及び金昌男(キム チャンナム)岡山・韓国友好親善大使。



活動する県議会 2009年を振り返る

※数字は、2009年1月～12月までの1年間の実績です。



本会議開催状況

1月臨時会	1月23日
2月定例会	2月23日～3月16日
5月臨時会	5月15日
6月定例会	6月8日～6月26日
9月定例会	9月7日～9月30日
11月定例会	11月30日～12月18日

本会議が開催されない時は、議員さんは何をしているのかな。

本会議が開催されない時にも委員会が開催されたり審議のための調査を行うなど、県民の皆様のため活発に活動しているよ。

2009年に審議された諸議案

予算案	47件	報告案件	3件
事件案件	70件	人事案件	10件
条例案	68件	発議案	24件
諮問案件	1件		

可決された意見書

県民福祉の向上のため、国会や関係省庁などに15件の意見書を提出し、その実現を図るよう要望しました。

● 気候保護法の制定に関する意見書

温室効果ガス削減の中・長期的削減数値目標を設定し、目標を達成するための政策を総合的に導入・実施する法律の実現を求めました。

● 北朝鮮による日本人拉致問題の解決のため経済制裁の延長などを求める意見書

拉致問題の解決に向けて、情報収集活動の強化及び経済制裁を含めた積極的な行動を進めるよう求めました。

● 私学助成制度の堅持及び充実強化に関する意見書

現行の私学助成に係る国庫補助制度を堅持し、一層の充実を図るよう求めました。

● 地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

政府による政策・制度の変更に当たっては、地方自治体が進めてきた施策や事業について財政問題で執行に支障が生じることがないように行うことを求めました。

● 障害者団体による自主共済に関する意見書

障害者団体による自主共済について、保険業法の適用範囲から除外もしくは厚生労働省を監督官庁とする制度共済とすることを求めました。

● 地方税財源の充実強化等を求める意見書

地方交付税の還元・増額を初めとする地方税財源の充実強化等に取り組むよう求めました。

● 国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書

国は行政府として直接地方の声に耳を傾け、しっかりと受け止める仕組みを保障するよう求めました。

● 新たな防衛計画の大綱の速やかな策定を求める意見書

防衛の空白阻止等のため新たな防衛計画の大綱を速やかに策定するよう求めました。

● 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

水力交付金の制度の恒久化及び交付条件の改善や事務手続きの簡素化などを求めました。

● 児童ポルノの規制強化を求める意見書

現行の児童買春・児童ポルノ禁止法の早期改正に取り組むなど、児童ポルノの規制を強化するよう求めました。

● 介護サービス情報の公表制度に関する意見書

介護サービス情報の公表制度の有意性について調査・検討を行い、制度の廃止を含めた介護保険法等の改正を検討するよう求めました。

● 保育所の最低基準の維持等に関する意見書

保育所の最低基準を維持するとともに保育所の整備を促進し、待機児童の早期解消を図るよう求めました。

● 農林水産業の基礎となる社会資本整備の推進を求める意見書

食料の安定供給や環境保全等のため農林水産業の基礎となる社会資本整備の推進などを求めました。

● 学習方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書

小学6年生・中学3年生の全児童生徒を対象とする全国学力テストを継続して実施するとともに調査結果を最大限活用するよう求めました。

● 安心して教育が受けられる社会の実現を求める意見書

家庭の教育に要する費用の軽減を図り、安心して教育が受けられる社会実現のための施策の推進を求めました。

採択された陳情

17件の陳情が採択され、執行機関に対し実現に向けて努力を求めました。☆詳しくは、県議会ホームページをごらんください。

全国都道府県議会議長会自治功労者表彰

全国都道府県議会議長会から、次の議員が永年勤続の自治功労者として表彰されました。



三原 誠介 議員 池田 道孝 議員 井元 乾一郎 議員 伊藤 文夫 議員

10年表彰受賞者



久徳 大輔 議員 高橋 戒隆 議員 佐藤 真治 議員

天皇陛下御即位二十年をお祝いし、賀詞の奉呈を決議

賀詞

天皇陛下におかせられましては、本年御即位二十年をお迎えになられ誠に慶賀にたえないところであります。天皇陛下皇后陛下の万歳をこぼさずここに岡山県議会は県民を代表して謹んで慶祝の誠を表します

岡山県議会

平成二十二年九月三十日

県議会ホームページが新しくなりました

もうお気づきかもしれませんが、今年から県議会のホームページがリニューアルしています。各県議会議員の紹介や本会議・委員会の開催状況など県議会の情報が満載です。ぜひ、ご利用ください。

編集・発行

岡山県議会事務局

〒700-8570 岡山市北区山下2-4-6
<http://www.pref.okayama.jp/syokyoku/gikai/gikai.htm>

この広報紙は地球にやさしい大豆インクを使用しています。このSOY INKマークは米国大豆協会認定マークです。

古紙配合率100%再生紙を使用しています。

ご意見・ご要望・お問い合わせ先

本会議傍聴、議会見学
情報公開
議員報酬、政務調査費 など

総務課

086-226-7548

gikai@pref.okayama.lg.jp

本会議、委員会の運営
請願・陳情受付
会議録作成 など

議事課

086-226-7551

ggi@pref.okayama.lg.jp

委員会視聴、政策研究
ホームページ、テレビ番組 など

政務調査室

086-226-7554

gseimu@pref.okayama.lg.jp

11月定例会



県議会を振り返る

平成21年11月定例会は、11月30日から会期19日間で開かれ、諸議案の審議を終えて12月18日に閉会しました。

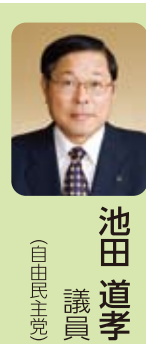
この議会に知事から提出された議案は、予算案3件、事件案件12件、条例案10件、報告案件1件、人事案件2件の計28件で、議会提出の議案は12件でした。

開会日には、一國として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書案が議員より提出され、即日可決され、直ちに関係先へ提出しました。

12月3日及び4日には代表質問が行われ、池田道孝議員(自由民主党)、三原誠介議員(民主系)、景山貞明議員(公明党)の3名の議員が県行財政上の諸課題について各会派を代表して質問を行ったほか、12月8日からは4日間にわたり、18名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

「教育とつくりの岡山」の創造について



池田道孝 議員 (自由民主党)

教育振興基本計画は県が独自に策定するものであることから、子どもたちの特性や地域などを十分に踏まえ、独自の創意工夫をしっかりと盛り込んだ施策を展開するよう期待する。計画の策定に当たり、本県教育の現状と課題をどのように捉え、どこに力点を置いた施策の展開を考えているのか。

本県教育の現状と課題の主なものとして「層の学力向上や学習習慣の定着が求められることや、いじめ不登校等の

問題、規範意識の低下、教育上特別な支援が必要など、子どもの増加などがある」と考えている。

これらを踏まえ、「心豊かなたくましく未来を拓く岡山の人づくり」を基本目標に掲げ、今後5年間は特に、確かな学力の向上はもとより、他者を思いやり共に支え合って生きていく豊かな心の育成や、きめ細やかな特別支援教育の充実を重点的に取り組んでまいりたい。

さらに、岡山の良さを素晴らしに目を向け、子どもたちが夢や目標を持ち意欲的に取り組む力をはぐくむ施策にも力点を置いて取り組んでまいりたい。こうした施策を総合的に推進し、郷土岡山を大切に思い、次代を力強く担う人材を育てていきたいと考えている。

介護保険問題について



景山貞明 議員 (自由民主党)

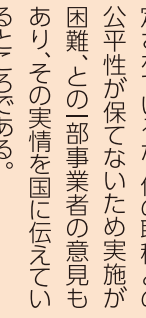
介護職員処遇改善交付金の対象は介護職員のみに限られているが、他職種の処遇のレベルを確保するために全職員を対象を広げることができないか。

また、介護サービス情報の公表制度の利用状況が少なく、現状がどうか。本県は、手数料が4万円と全国2位の高額である。大幅な引き下げが必要ではないか。

介護職員処遇改善交付金の対象は介護職員のみに限られているが、他職種の処遇のレベルを確保するために全職員を対象を広げることができないか。

また、介護サービス情報の公表制度の利用状況が少なく、現状がどうか。本県は、手数料が4万円と全国2位の高額である。大幅な引き下げが必要ではないか。

環境対策について



長瀬 泰志 議員 (自由民主党)

県は二酸化炭素森林吸収評価制度(※)を創設し、企業、団体の森林保全活動への参画を促しているが、現在は2社1団体が認証されているにとどまり、この制度が広く認知されるには時間がかかると思われる。企業との協働の森づくり、特にコンパクト構成企業の参画意識向上に向けた取り組みが極めて意義あるものと考えられるが、その対応について伺いたい。

森林保全活動への企業の参画を促すため、県内企業約350社へのチラシの送付や事業説明会の開催など周知に努めてきたところである。こうした取り組みの結果、現在6企業が市町村有林等で活動しており、さらに3企業1団体が取り組みに向けた準備を進めている。

9月定例会

平成21年9月定例会は、9月7日から24日間の会期で開かれ、諸議案の審議を終えて9月30日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、経済対策を柱とする総額約297億9千900万円の一般会計補正予算案など予算案2件、事件案件7件、条例案12件、諮問案件1件、報告案件1件、人事案件1件の計24件で、議会提出の議案は、天皇陛下御即位20年をお祝いする「賀詞案」(※4面参照)など5件でした。

開会日には知事から提案説明があり、9月10日及び11日には代表質問が行われ、伊藤文夫議員(自由民主党)、長瀬泰志議員(民主系)、高橋英士議員(公明党)の3名の議員が県行財政上の諸課題について各会派を代表して質問を行ったほか、15日からは4日間にわたり、18名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

県政の基本的な方向について



伊藤文夫 議員 (自由民主党)

先般の衆議院議員選挙の結果、国政においては民主党が第1党となり、我が国の政治も大きくかじが切られようとしている。「政治家主導の政治」を目指し、新しく首相相直厲の「国家戦略局」が置かれるとも聞か。

知事はこの変革期に当たり、今後地方分権をどのように進めていくのか。また、どのようにして地元岡山の声を国政に反映させていくのか所見を伺いたい。

先般の衆議院議員選挙の結果、国政においては民主党が第1党となり、我が国の政治も大きくかじが切られようとしている。「政治家主導の政治」を目指し、新しく首相相直厲の「国家戦略局」が置かれるとも聞か。

教育問題について



三原誠介 議員 (自由民主党)

国が8月に公表した概算要求と政権交代後の要求見直しでは内容がずいぶん変わっている。特に理数教科の少人数指導の充実が求められるようになり、主幹教諭に係る定数改善は5分の1に減少している。さらには特別支援教育の充実など5千500人の定数の改善が概算要求とてあげられている。新政権の方針を受けたこの要求について、県はどのように受け止め、対応していくつもりか。

環境対策について



長瀬 泰志 議員 (自由民主党)

県は二酸化炭素森林吸収評価制度(※)を創設し、企業、団体の森林保全活動への参画を促しているが、現在は2社1団体が認証されているにとどまり、この制度が広く認知されるには時間がかかると思われる。企業との協働の森づくり、特にコンパクト構成企業の参画意識向上に向けた取り組みが極めて意義あるものと考えられるが、その対応について伺いたい。

森林保全活動への企業の参画を促すため、県内企業約350社へのチラシの送付や事業説明会の開催など周知に努めてきたところである。こうした取り組みの結果、現在6企業が市町村有林等で活動しており、さらに3企業1団体が取り組みに向けた準備を進めている。

一般質問を行った議員

12月8日	12月9日	12月10日	12月11日
小林健伸 (自民)	増川英一 (公明)	久徳大輔 (自民)	江本公一 (自民)
武田英夫 (共産)	西岡聖貴 (自民)	波多洋治 (自民)	神宝謙一 (自民)
浅野 實 (自民)	吉田政司 (公明)	太田正孝 (自民)	横田えつこ (民衆)
佐藤真治 (自民)	木下素典 (民衆)	岡田幹司 (民衆)	蜂谷弘美 (自民)

6月定例会

平成21年6月定例会は、6月8日から会期19日間で開かれ、諸議案の審議を終えて6月26日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、国の追加経済対策に呼応し、緊急雇用創出や地球温暖化対策などを柱とした約261億3千万円の一般会計補正予算案や、事件案件4件、条例案13件、人事案件2件の計20件でした。

6月11日及び12日には代表質問が行われ、井元乾郎議員(自由民主党)、住吉良久議員(民主系)、増川英一議員(公明党)の3名の議員が県行財政上の諸課題について各会派を代表して質問を行ったほか、16日からは4日間にわたり、22名の議員が一般質問を行いました。

代表質問から

「産業と交流の岡山」の創造について



井元乾郎 議員 (自由民主党)

本県は中・四国の酪農県だが、飼料価格の高騰など生産コストの上昇や消費の減退などにより厳しい経営環境が続いている。酪農家戸数は年々減少し生乳生産量も減少するなど酪農生産基盤の弱体化が懸念される。

一方で食の安全・安心に対する消費者の関心が高まっており、産地間競争が激化する中で高い品質で魅力ある畜産物の安定的な確保が求められている。こうした状況を踏まえ、効果的な酪農振興対策が必要と考えるのが所見を伺いたい。



一般質問を行った議員

6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
加藤浩久 (自民)	小林健伸 (自民)	太田正孝 (自民)	高橋戒隆 (自民)
赤坂てる子 (共産)	伊藤文夫 (自民)	波多洋治 (自民)	青野高陽 (自民)
蜂谷弘美 (自民)	木下素典 (民衆)	高原俊彦 (民衆)	山田総一郎 (公明)
遠藤康洋 (自民)	小倉弘行 (自民)	連岡靖之 (自民)	渡辺英気 (自民)
江本公一 (自民)	西岡聖貴 (自民)	景山貞明 (公明)	

環境対策について



長瀬 泰志 議員 (自由民主党)

県は二酸化炭素森林吸収評価制度(※)を創設し、企業、団体の森林保全活動への参画を促しているが、現在は2社1団体が認証されているにとどまり、この制度が広く認知されるには時間がかかると思われる。企業との協働の森づくり、特にコンパクト構成企業の参画意識向上に向けた取り組みが極めて意義あるものと考えられるが、その対応について伺いたい。

新政権への対応について



高橋英士 議員 (自由民主党)

民主党は、高速道路の無料化を打ち出しているが、公共交通機関への影響など、これには既に多くの問題点が指摘されている。県は毎年約27億円の多額の出資を瀬戸大橋に関して行っているが、民主党は高速道路の無料化に伴い、これまでの出資金を関係自治体に対して償還する必要がある。県がこれまで支払った出資金はかなりの額になると思

民主党は、高速道路の無料化を打ち出しているが、公共交通機関への影響など、これには既に多くの問題点が指摘されている。県は毎年約27億円の多額の出資を瀬戸大橋に関して行っているが、民主党は高速道路の無料化に伴い、これまでの出資金を関係自治体に対して償還する必要がある。県がこれまで支払った出資金はかなりの額になると思

一般質問を行った議員

9月15日	9月16日	9月17日	9月18日
小野泰弘 (自民)	小倉弘行 (自民)	小林健伸 (自民)	太田正孝 (自民)
森脇久紀 (共産)	渡辺吉幸 (自民)	岡本泰介 (自民)	波多洋治 (自民)
江本公一 (自民)	吉田政司 (公明)	谷口圭三 (自民)	横田えつこ (民衆)
中塚周一 (自民)	三原誠介 (民衆)	青野高陽 (自民)	連岡靖之 (自民)

医療福祉について



住吉良久 議員 (自由民主党)

高齢者の有業率が高いほど老人医療費は低くなる傾向がある。目標として生き生きと生活することの大切さがかえらる。高齢者の生きがいが対策について、本県ではどのように考えているのか。併せて医療費全体を削減するための取り組みについて伺いたい。

また、がん対策について、日本人の5割が、第1級発がん因子である「ロリ菌検査」と言われる「ロリ菌検査」は胃がんの早期発見に有効とされており、定期健診のオプション等で行うと800円程度で検査ができる。半額程度を補助しても良いと見れば医療費の削減に繋がると思うがいかがか。

日本版グリーンニューディール政策等について



増川英一 議員 (自由民主党)

太陽光発電の普及への決意を挙げ、太陽光発電世界一の座を奪還しようとして取り組んでおり、全国の自治体もそれに呼応する取り組みを進めている。その中で、「晴れの国おかやま」を標榜する本県が、今こそ太陽光発電の推進に取り組む、効果としては景気回復に少しも効果は上がるようにすべきではないか。

「晴れの国おかやま」にふさわしい太陽光発電の普及の発展を目指してまいりたい。

太陽光発電の普及への決意を挙げ、太陽光発電世界一の座を奪還しようとして取り組んでおり、全国の自治体もそれに呼応する取り組みを進めている。その中で、「晴れの国おかやま」を標榜する本県が、今こそ太陽光発電の推進に取り組む、効果としては景気回復に少しも効果は上がるようにすべきではないか。

6月16日	6月17日	6月18日	6月19日
予 算 案 1件可決(1件中)	予 算 案 4件可決(4件中)	予 算 案 3件可決(3件中)	予 算 案 1件可決(1件中)
事 件 案 件 4件可決(4件中)	事 件 案 件 2件同意(2件中)	事 件 案 件 2件同意(2件中)	事 件 案 件 1件同意(1件中)
条 例 案 13件可決(13件中)	条 例 案 10件可決(10件中)	条 例 案 11件可決(12件中)	条 例 案 12件可決(12件中)
諮 問 案 2件同意(2件中)	諮 問 案 10件可決(10件中)	諮 問 案 2件同意(2件中)	諮 問 案 12件可決(12件中)



定例会を振り返ってみよう!

紙面の都合上、二人間以内で要旨を掲載しています。